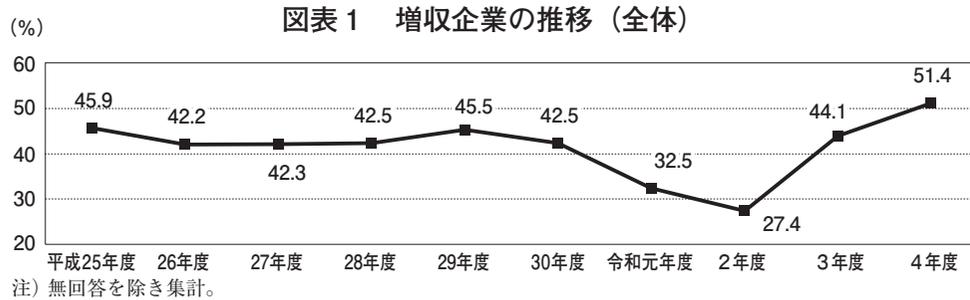


東京都中小企業収益動向調査

－令和4年度の収益動向と令和5年度の収益見通し－

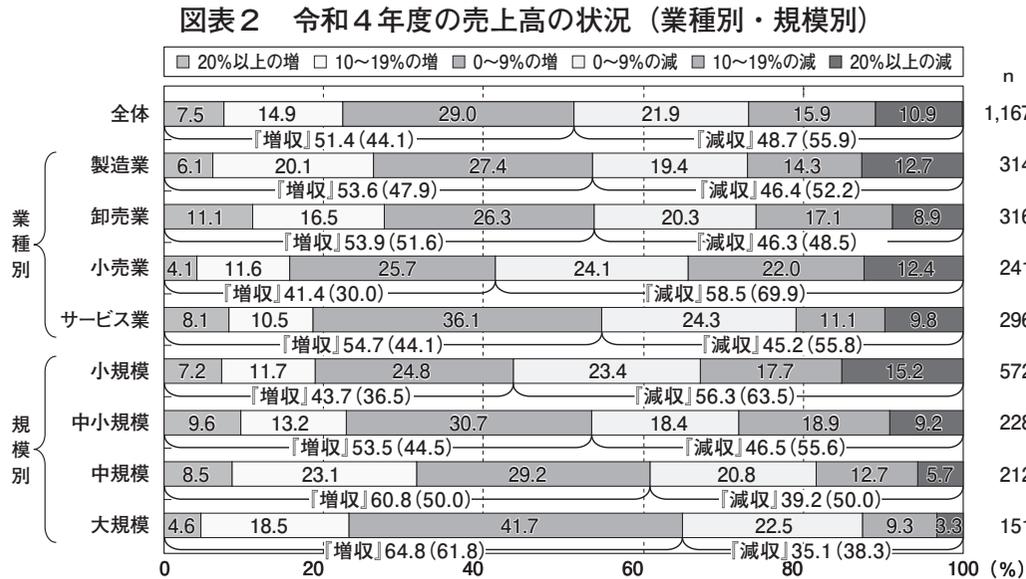
1. 令和4年度の売上高の状況

令和3年度と比較した令和4年度の売上高の状況は、増加した企業（以下「増収企業」という。）が51.4%、減少した企業が48.7%となった。前回調査と比べて増収企業の割合は7.3ポイント増加した。



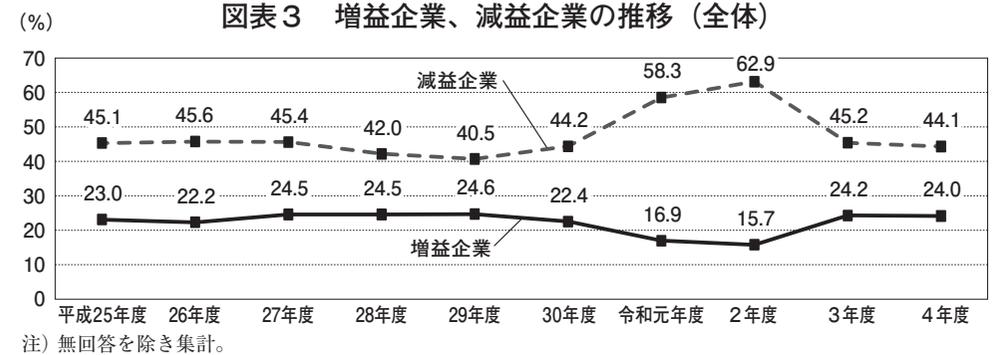
業種別にみると、前回調査と比べて全ての業種で増収企業の割合が増加し、なかでも小売業は41.4%（前回調査30.0%）と11.4ポイント増加した。

規模別にみると、規模が大きくなるほど増収企業の割合が高くなり、大規模は64.8%（同61.8%）となった。



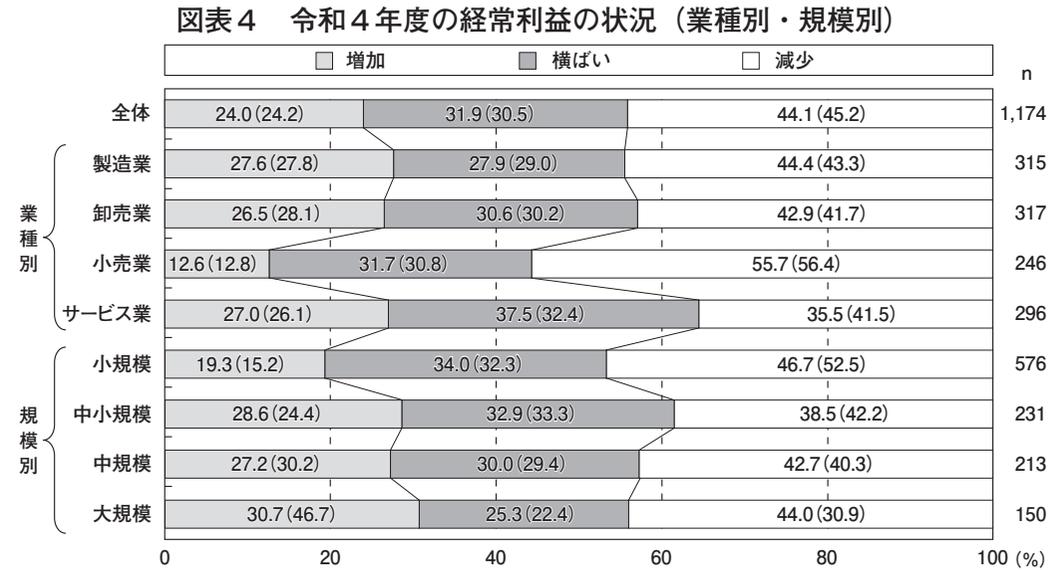
2. 令和4年度の経常利益の状況

令和3年度と比較した令和4年度の経常利益の状況は、増加した企業（以下「増益企業」という。）が24.0%、減少した企業（以下「減益企業」という。）が44.1%となった。前回調査から増益企業と減益企業はともにほぼ横ばいで推移し、依然として減益企業が増益企業を上回っている。



業種別にみると、前回調査と比べて製造業と卸売業は減益企業の割合が増加し、増益企業の割合が減少した。一方、サービス業は減益企業が35.5%（前回調査41.5%）と6.0ポイント減少し、増益企業が27.0%（同26.1%）と0.9ポイント増加した。

規模別にみると、大規模は減益企業が44.0%（同30.9%）と13.1ポイント増加し、増益企業が30.7%（同46.7%）と16.0ポイント減少した。

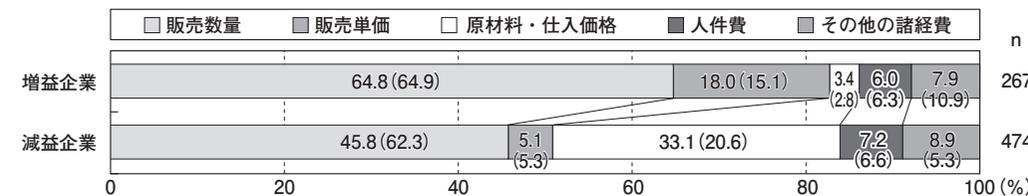


3. 経常利益増減の主な要因

令和4年度の経常利益増減の主な要因を増益企業で見ると、「販売数量」が64.8%（前回調査64.9%）と最も高く、「販売単価」が18.0%（同15.1%）の順で続いた。前回調査と比べて「販売単価」は2.9ポイント増加した。

また、減益企業で見ると、「販売数量」が45.8%（同62.3%）と最も高く、「原材料・仕入価格」が33.1%（同20.6%）の順で続いた。前回調査と比べて「販売数量」は16.5ポイント減少した一方、「原材料・仕入価格」は12.5ポイント増加した。

図表5 増益、減益企業別の経常利益増減の主な要因

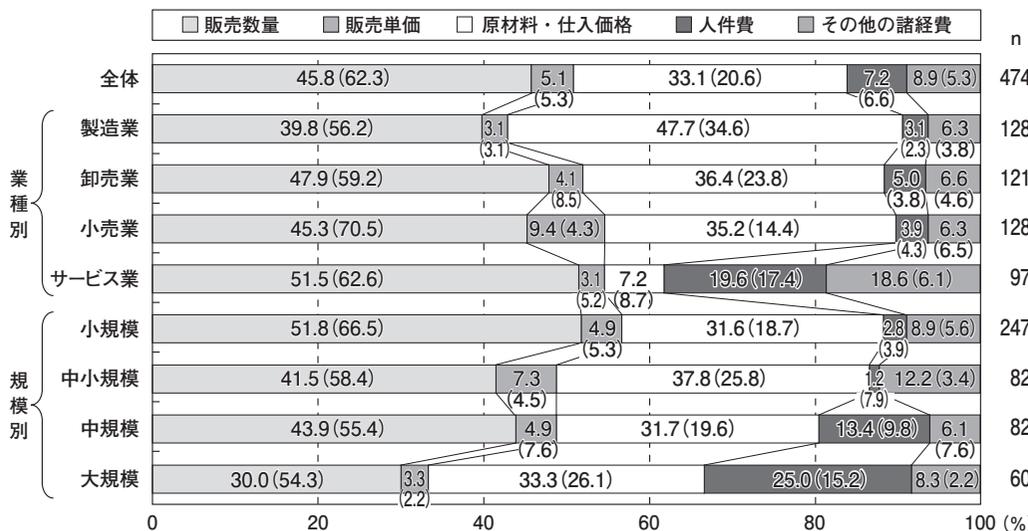


注) 無回答を除き集計。()内は前回調査(令和4年9月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

減益企業における経常利益減少の主な要因を業種別にみると、前回調査と比べて製造業、卸売業、小売業は「原材料・仕入価格」の割合が増加し、なかでも小売業は35.2%（同14.4%）と20.8ポイント増加した。また、他の業種に比べてサービス業の「人件費」は19.6%（同17.4%）と高く、約2割を占める。

規模別にみると、他の規模に比べて大規模は「人件費」が25.0%（同15.2%）と高い。

図表6 経常利益減少の主な要因（業種別・規模別）

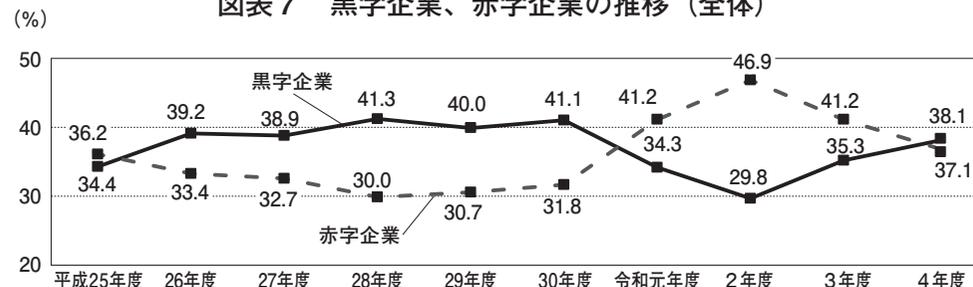


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年9月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 令和4年度の採算状況

令和4年度の採算状況は、黒字企業が38.1%、赤字企業が37.1%となった。前回調査と比べて黒字企業の割合は2.8ポイント増加、赤字企業の割合は4.1ポイント減少し、4年ぶりに黒字企業が赤字企業を上回った。

図表7 黒字企業、赤字企業の推移（全体）

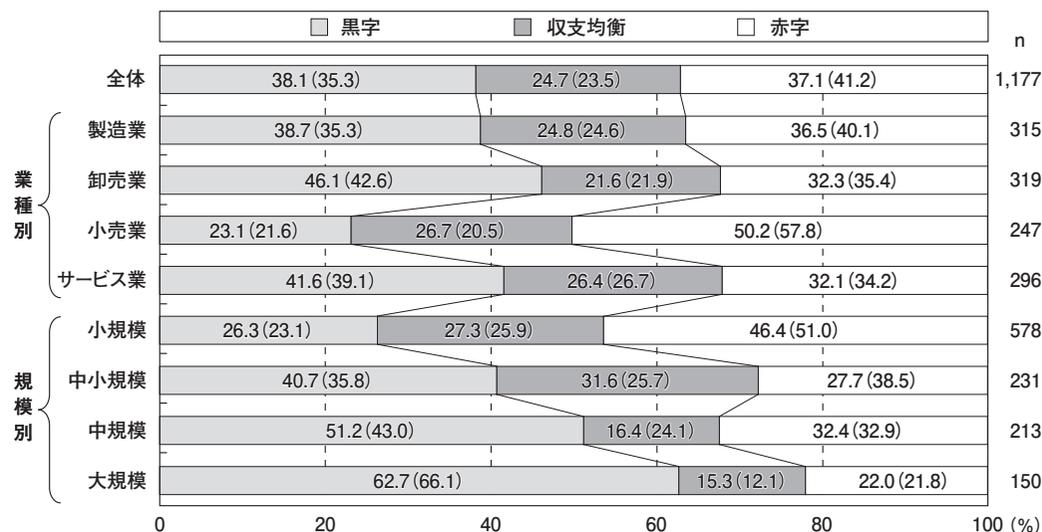


注) 無回答を除き集計。

業種別にみると、前回調査と比べて全ての業種で「黒字」が増加、「赤字」が減少し採算状況が改善した。なかでも卸売業は「黒字」が46.1%（前回調査42.6%）と3.5ポイント増加し、小売業は「赤字」が50.2%（同57.8%）と7.6ポイント減少した。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「黒字」が高くなり、大規模は62.7%（同66.1%）と6割を超える。

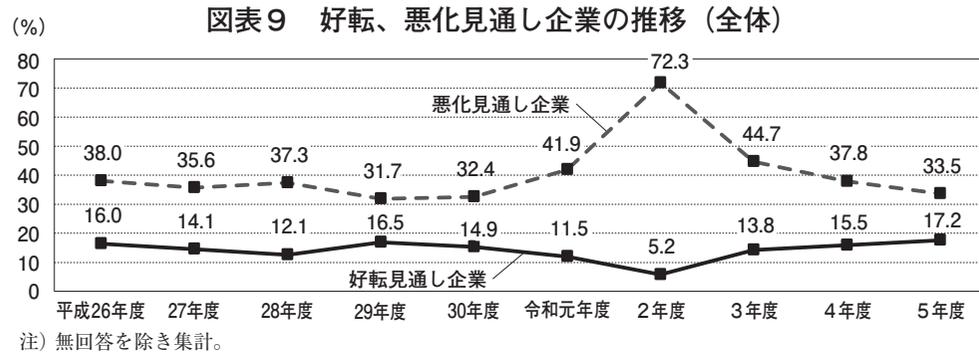
図表8 令和4年度の採算状況（業種別・規模別）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和4年9月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 令和5年度の収益見通し

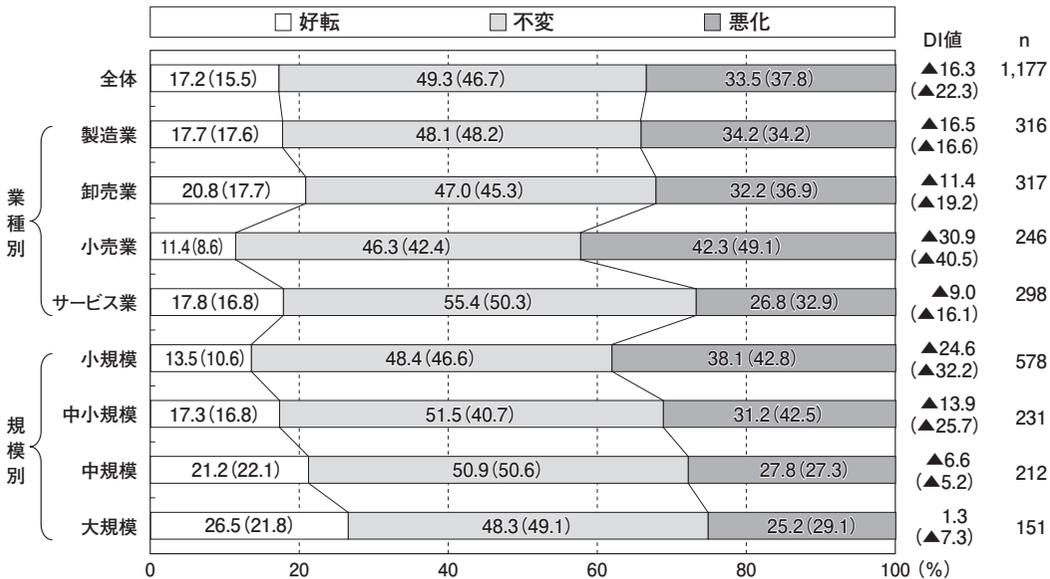
令和5年度の収益見通しは、好転見通し企業が17.2%、悪化見通し企業が33.5%となった。前回調査と比べて好転見通し企業の割合は1.7ポイント増加し、悪化見通し企業の割合は4.3ポイント減少した。



業種別に収益見通しをDI値（好転－悪化）でみると、前回調査と比べて全ての業種で改善した。なかでも小売業▲30.9（前回調査▲40.5）は9.6ポイント増加した。

規模別に収益見通しをDI値でみると、前回調査と比べて小規模▲24.6（同▲32.2）は7.6ポイント増加、中小規模▲13.9（同▲25.7）は11.8ポイント増加、大規模1.3（同▲7.3）は8.6ポイント増加した。

図表10 令和5年度の収益見通し（業種別・規模別）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査（令和4年9月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。